

オープンサイエンスを推進するデータ基盤とその利活用に関する検討委員会
(第25期・第10回)

議事要旨

1. 日時 令和5年1月19日(木) 19:00-21:00

2. 会場 オンライン開催 (Zoom)

出席者(五十音順、敬称略): 相澤 清晴、秋葉 澄伯、大向 一輝、喜連川 優、
木部 暢子、小林 武彦、小安 重夫、三枝 信子、宍戸 常寿、澁澤 栄、
高木 利久、筑本 知子、寺崎 浩子、永井 由佳里、仁科 弘重、林 和弘、
菱田 公一、溝端 佐登史

話題提供者: 船守 美穂 (NII)

オブザーバ: 山地 一偵 (NII)

事務局: 佐々木 亨、高橋 直也、奥和田 久美、齊藤 美穂

3. 議題

- (1) 前回議事要旨の確認
- (2) 審議依頼に対する回答について (報告)
- (3) 欧州及び豪州のオープンサイエンスに関する動向について
- (4) 学術フォーラムについて
- (5) 今期における意思の表出について
- (6) その他

4. 配布資料

資料1: 第9回議事要旨 (案)

資料2: 回答「研究DXの推進—特にオープンサイエンス、データ利活用推進の視点から—に関する審議について」

資料3: EOSC シンポ参加報告

資料4: 豪州大学における研究データ管理体制・eResearch 推進体制

資料5: 学術フォーラム企画案

5. 議事

- (1) 定足数を満たし委員会の成立を確認した後、資料1に基づき第9回議事要旨(案)を承認した。
- (2) 喜連川委員長から、昨年12月に学術会議から公開された回答「研究DXの推進—特にオープンサイエンス、データ利活用推進の視点から—に関する審議について」を資料2として添付したことが説明された。
- (3) 山地委員から資料3に基づき European Open Science Cloud (EOSC) Symposium 2022の内容を中心に欧州のデータ基盤の動向が紹介された。続いて船守氏から資料4に基づき豪州大学における研究データ管理体制が説明され、2件の話題提供に関して詳細な意見交換が行われた。
- (4) 林委員から資料5に基づき学術フォーラムの企画案が説明され、企画案を提出することが承認された。

(5) 今期中に意思の表出を行うのであれば早急に方針を決め、1 月末までに申出書を提出することが必要である。喜連川委員長から、審議依頼に対する回答の内容に基づく意見の表出を行う方針であることが説明され、こののち申出書（案）を作成して提出する準備を行うことを決定した。

(6) その他 特になし。

以上